

プログラミングが子どもたちの日常を変える!?

プログラミングってプログラマーが仕事で使うもので、自分や子どもには関係ないと思っていませんか？実はそれは大きな勘違い。今回はプログラミングが子どもたちの日常にもたらしてくれる素晴らしい効果についてお伝えしていきます。

忍耐力と問題解決能力が鍛えられる

プログラミングを学ぶ醍醐味のひとつは、子ども時代から大量のトライアル&エラー（試行錯誤）を体験できることにあります。プログラミングの流れを簡単に説明すると、①まずは試してみる→②思うような結果が得られない→③問題と思われる箇所を修正してまた試してみる→④うまくいった！or②に戻る。のくり返しになります。

普通なら子どもたちはすぐに嫌になって投げだしてしまいそうなものですが、プログラミングは他の物事に比べて、「③修正してまた試してみる」のハードルが低いので、きちんとしたサポートがあればあきらめずに続けることができます。そしてこの習慣が身につくと、日常生活においても何

か問題が生じたときに、その原因は何かを分析し、問題が解決するまで忍耐強く徹底的に試行錯誤することができるようになっていくのです。

物事を計画的かつ効率的に実行できるようになる先ほど出てきた「①まずは試してみる」の過程では、誰もが最初は模倣から始める必要があります。サンプルや似たような例を見ながらまずはそれを真似てみて、自分の思っていたような結果が得られるかを試します。そこから少し成長すると、ある結果を得るためには、どのように物事を順序だてて実行していけば良いかを自分で考え出すことができるようになっていきます。

例えば夏休みの宿題をいつもギリギリまで溜め込んで苦労している子がいたとしましょう。でもプログラミングを学ぶと、物事の原因と結果について考える習慣が身についていきます。周りを観察してみると友だちのAさんは、いつも宿題を余裕で終わらせて夏休みを満喫しているように見えます。なんでだろう？話を聞いてみるとAさんはいつも計画を立てて、毎日少しずつ宿題を終わらせているので夏休みの後半になっても余裕だったということが分かりました。

早速Aさんを模倣して、自分もやってみることにしました。ある程度はうまくいきましたが、やはりなかなか計画通りにいきません。夜に宿題をしようと思ったのですが、どうしても1日遊び疲れてしまうと眠くなって勉強どころではなくなってしまいます。どうしたらよいんだろう？色々考えて、原因は宿題をする時間帯だということに気づきます。遊び疲れてからだとできないのであれば、朝起きてからすぐにやれば良いんじゃないかな？どうやら正解だったようで、朝にやるようになってからは計画通り毎日コツコツと宿題を進めることができるようになりました。

もちろんすべての子がここまで大きく変化するとは限りませんが、プログラミングを学ぶことで似たような思考回路を持つことができるようになったという親御さんの声はよく耳にします。

このようにプログラミングは子どもたちの日常に様々な良い影響をもたらします。今号のミニゲームではお菓子作りとの関係性を体験することができますので、ぜひ親子で挑戦してみてください。それでは、また次号でお会いしましょう。

怪盗ロンメルからの挑戦状

君はクッキーを上手に焼くことができるかな？



6月19日を「プログラミング教育の日」に制定

全国のプログラミング教育を推進するため、ロジカ式は「ロジック」にかけた6月19日を「プログラミング教育の日」として制定し、日本記念日協会によって正式に認定されました。

認定式の様子はYahoo! ニュースをはじめとする沢山のメディアに掲載されました。



認定証授与式の様子



読者コーナー



ロジカーズの漫画に登場するキャラクターのイラストを描いてハガキが写真で投稿してね。

編集部で審査のうえ、毎月の最優秀作品にはQUOカード1,000円分をプレゼントします。ロジカタイムズのHPに掲載されたり、ロジカ式の公式SNSでも紹介されるかも？

皆さんからのご応募をお待ちしています！

■ハガキの送り先はこちら
〒563-0047
大阪府池田市室町 4-49
COZY 室町 1F
ロジカタイムズ編集部 宛

■写真で送る場合はこちら▶



子育てママのためのQ&A

Q

めんどくさがりで努力するのがいやという娘（息子）何かを頑張ってほしいけどどうしたらいいの？



A

じつは努力できる人とできない人では脳の活動している部分が違うのよ。その仕組みを上手く活用するといいかも！

活用法

- ① ゲーム要素を取り入れて、努力をゲーム化する
ゲーム性を取り入れて作業の退屈さを紛らわせると楽しみながら頑張れます。
- ② ご褒美を準備
ご褒美を用意して「努力は決して無駄にはならない」と脳に認識させましょう。
- ③ 努力せずにすむ方法を考えてみる
面倒くさいという感情を大切に、無駄なことをやり続けられないために効率的な方法を編み出しましょう。

「面倒な作業は自動化したい」がプログラミングの原点だったりするので、めんどくさがり屋の人にこそプログラミングをぜひ学んでもらいたいわね★



無料体験もやってるよ！
下の教室情報を見てね。



ロジカ式池田本校
池田市室町 4-49 COZY 室町 1F

ロジカ式オンライン教室

詳細はこちら▶

連絡先

メール: school@logica.academy
電話: 0800-8888-649

